

# コミュニティワーク

(社福)尾道のぞみ会 地域生活支援センターるり  
尾道市障害者サポートセンターはな・はな  
主任相談支援専門員 桃谷栄二郎

1

## 尾道市障害者サポートセンターはな・はなについて



～旧尾道市・御調町・向島町にお住いの方は～

尾道市障害者サポートセンター はな・はな

〒722-0017

尾道市門田町22-5 尾道市総合福祉センター内1階

TEL:0848-29-5002

FAX:0848-29-5003

E-mail:[hana-hana@mx32.tiki.ne.jp](mailto:hana-hana@mx32.tiki.ne.jp)

●月曜日～金曜日、9:00～17:30の受付です。

●土曜日、日曜日、祝日、お盆、年末年始は

お休みです。

●主任相談支援専門員3名、相談支援専門員4名



～旧因島市・瀬戸田町にお住まいの方は～

尾道市障害者サポートセンターはな・はな  
因島・瀬戸田センター

〒722-2324

尾道市因島田熊町1315-1

因島総合保健福祉センター内1階

TEL:0845-23-7020

FAX:0845-23-7030

E-mail:[hana-inse@wakaba-innoshima.com](mailto:hana-inse@wakaba-innoshima.com)

●月曜日～金曜日、9:00～17:30の受付です。

●土曜日、日曜日、祝日、お盆、年末年始はお休みです。

●主任相談支援専門員1名、相談支援専門員2名



# 基幹相談支援センターの業務について

基幹相談支援センターとは(障害者総合支援法第77条の2第1項) ※令和6年4月1日施行

○ 市町村は、基幹相談支援センターを設置するよう努めるものとする。(法第77条の2第2項)  
(一般相談支援事業、特定相談支援事業を行うものに対し、業務の実施を委託することができる(同条第3項)) 新

○ 地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、次に掲げる事業及び業務を総合的に行うこととする目的とする施設。  
※施設は必ずしも建造物を意味するものではなく、業務を行うための場所のこと。

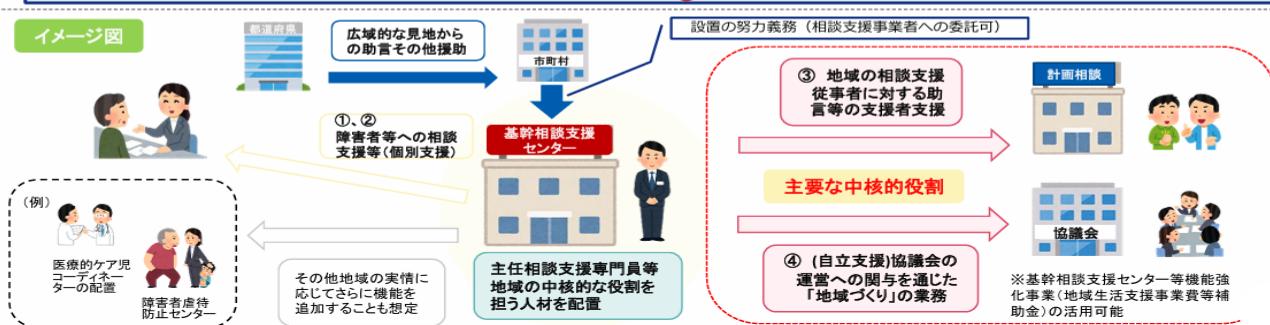
① 障害者相談支援事業(77条1項3号)・成年後見制度利用支援事業(77条1項4号) 個別支援(特にその対応に豊富な経験や高度な技術・知識を要するもの)

② 他法において市町村が行うとされる障害者等への相談支援の業務 (身体障害者福祉法9条5項2号及び3号、知的障害者福祉法9条5項2号及び3号、精神保健福祉法49条1項に規定する業務)

**新 ③ 地域の相談支援従事者に対する助言等の支援者支援**  
(地域における相談支援・障害児相談支援に従事する者に対し、一般相談支援事業・特定相談支援事業・障害児相談支援事業に関する運営について、相談に応じ、必要な助言、指導その他の援助を行う業務)

**新 ④ (自立支援)協議会の運営への関与を通じた「地域づくり」の業務**  
(89条の3第1項に規定する関係機関等の連携の緊密化を促進する業務) (③④が主要な「中核的な役割」)

※ また、都道府県は、市町村に対し、基幹相談支援センターの設置の促進及び適切な運営の確保のため、**広域的な見地からの助言**その他援助を行うよう努めるものとされている。(同条第7項) 新

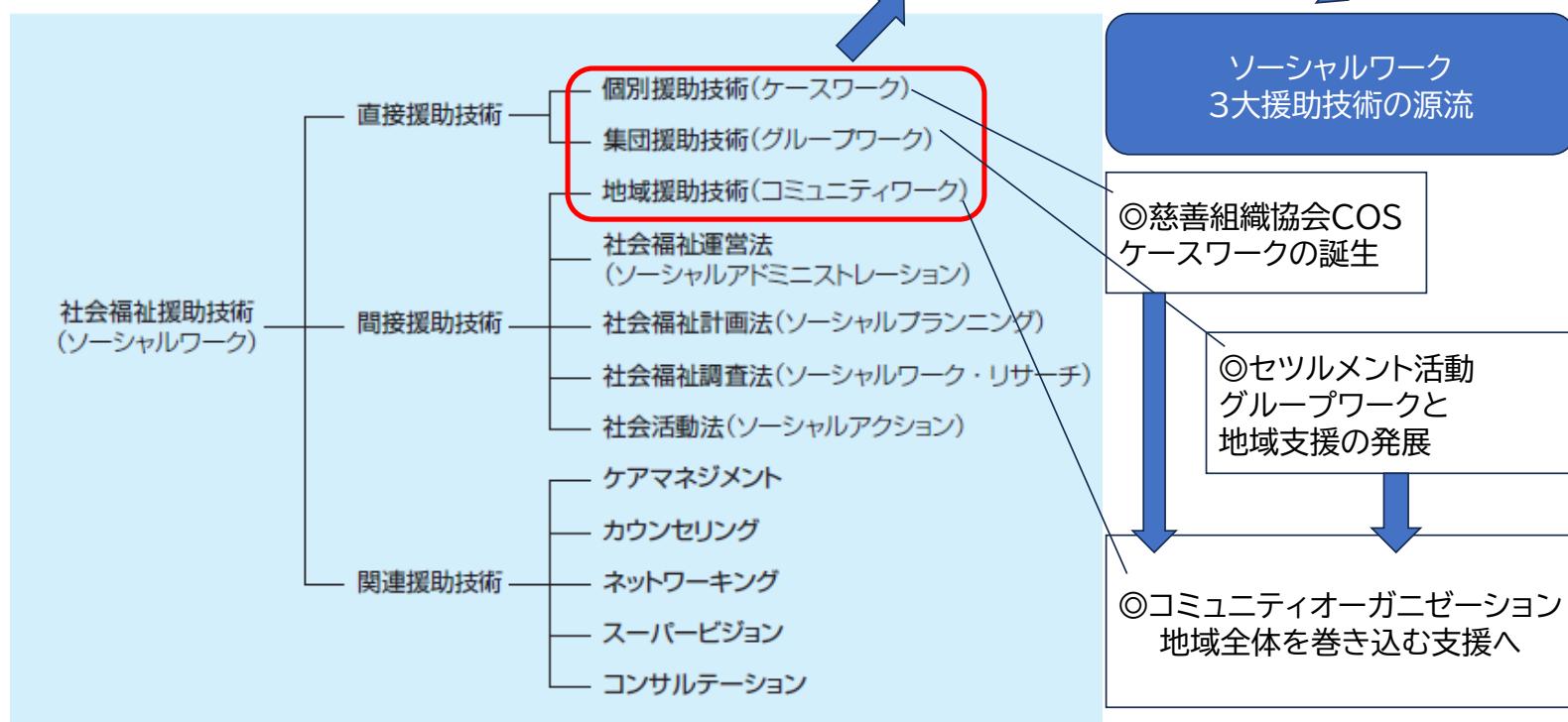


引用：060206全国厚生労働関係部局長会議資料より

## 導入講義 コミュニティワーク

# ソーシャルワークについて

図 社会福祉援助技術の区分



出所：(新版・社会福祉学習双書編集委員会編『新版・社会福祉学習双書2004《第1巻》社会福祉概論』全国社会福祉協議会,2004年, p160-173を元に作図)

## 地域を基盤としたソーシャルワーク： 個別支援と地域支援を並行検討へ

ジェネラリストソーシャルワーク※を基礎理論とし、地域で展開する総合相談を実践概念とする、個を地域で支える援助と個を支える地域をつくる援助を**一体的に推進すること**を基調とした実践理論の体系である（岩間2012）。

※ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークを統合した援助技術

# 地域を基盤としたソーシャルワーク

キーワード	内 容
ジェネラリスト・ソーシャルワーク	ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークを統合した援助技術
総合相談	どんな相談でも、まず受け止めて、必要な支援につなげる
個を地域で支える援助	困っている人が地域の中で孤立せず、周囲の人々の支えや制度を利用して暮らしていくようにする支援
個を支える地域をつくる援助	困っている人を地域全体で支えていくように、仕組みや人のつながりを育てていく支援
一体的に推進	個別支援と地域づくりをセットで進める
実践理論の体系	実際にやってみて、そこから得た知識を整理して、理論として体系化したもの

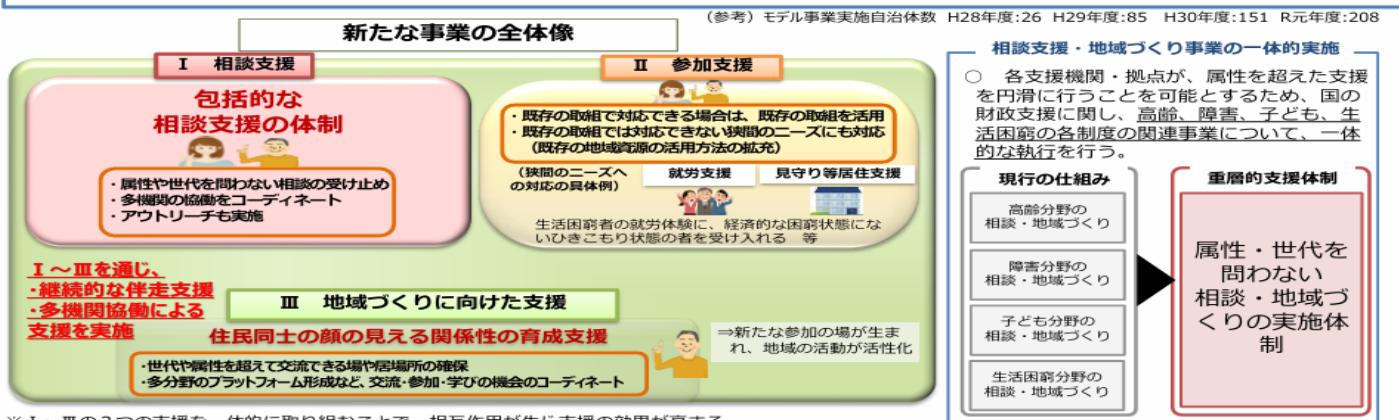
## 重層的支援体制整備事業について

### 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の重層的な支援体制の構築の支援

- 地域住民が抱える課題が複雑化・複合化（※）する中、従来の支援体制では課題がある。（※）一つの世帯に複数の課題が存在している状態（8050世帯や、介護と育児のダブルケアなど）、世帯全体が孤立している状態（ごみ屋敷など）
- ▼属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難。
- ▼属性を超えた相談窓口の設置等の動きがあるが、各制度の国庫補助金等の目的外流用を避けるための経費按分に係る事務負担が大きい。
- このため、属性を問わない包括的な支援体制の構築を、市町村が、創意工夫をもって円滑に実施できる仕組みとすることが必要。

### 社会福祉法に基づく新たな事業（「重層的支援体制整備事業」）の創設

- 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、**I 相談支援**、**II 参加支援**、**III 地域づくりに向けた支援を一體的に実施する事業を創設**する。
- 新たな事業は実施を希望する市町村の手あげに基づく**任意事業**。ただし、事業実施の際には、I～IIIの支援は必須
- 新たな事業を実施する市町村に対して、相談・地域づくり関連事業に係る補助等について一體的に執行できるよう、**交付金を交付する**。



\* I～IIIの3つの支援を一體的に取り組むことで、相互作用が生じ支援の効果が高まる。  
 (ア) 狹間のニーズにも対応し、相談者が適切な支援につながりやすくなることで、相談支援が効果的に機能する  
 (イ) 地域づくりが進み、地域で人と人とのつながりができることで、課題を抱える住民に対する気づきが生まれ、相談支援へ早期につながる  
 (ウ) 災害時の円滑な対応にもつながる

## コミュニティソーシャルワーク：

個別支援から地域支援へ

地域において個別支援と地域組織化を統合化させる実践である。地域自立生活上サービスを必要としている人に対し、ケアマネジメントによる具体的援助を提供しつつ、その人に必要なソーシャルサポート・ネットワークづくりを行い、かつその人が抱える生活問題が同じように起きないよう福祉コミュニティづくりとを統合的に展開する、地域を基盤としたソーシャルワーク実践である（大橋2005）。

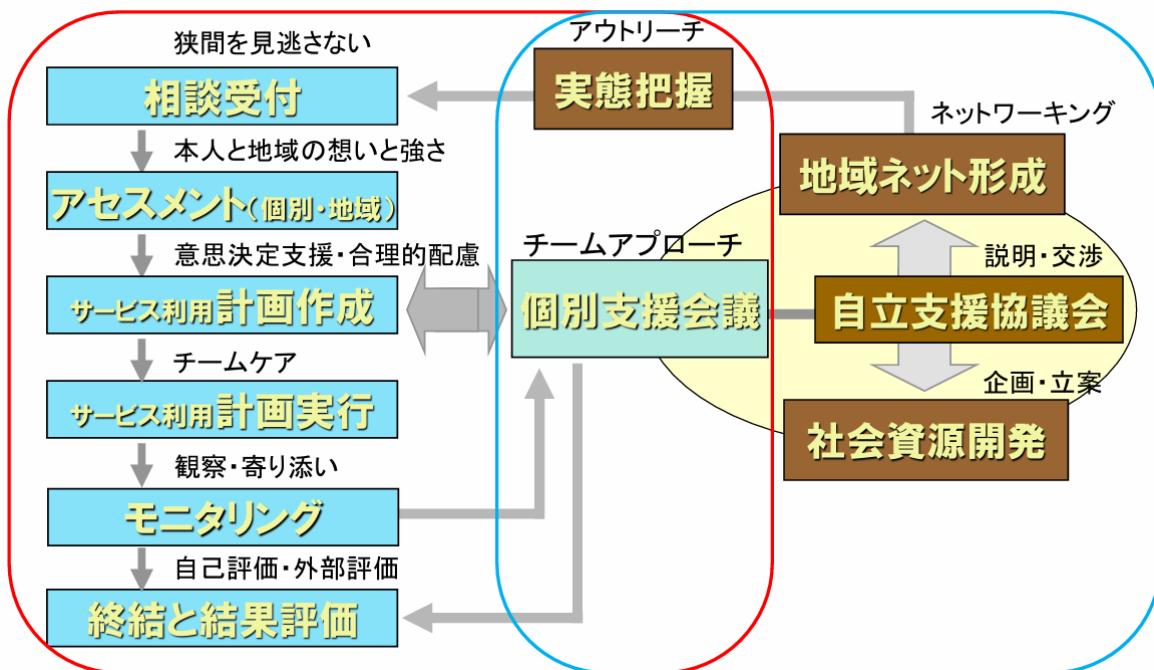
出所：大橋（2005）「コミュニティソーシャルワークの機能と必要性」地域福祉研究33

## コミュニティソーシャルワーク

個別支援と地域組織化を統合化させる実践

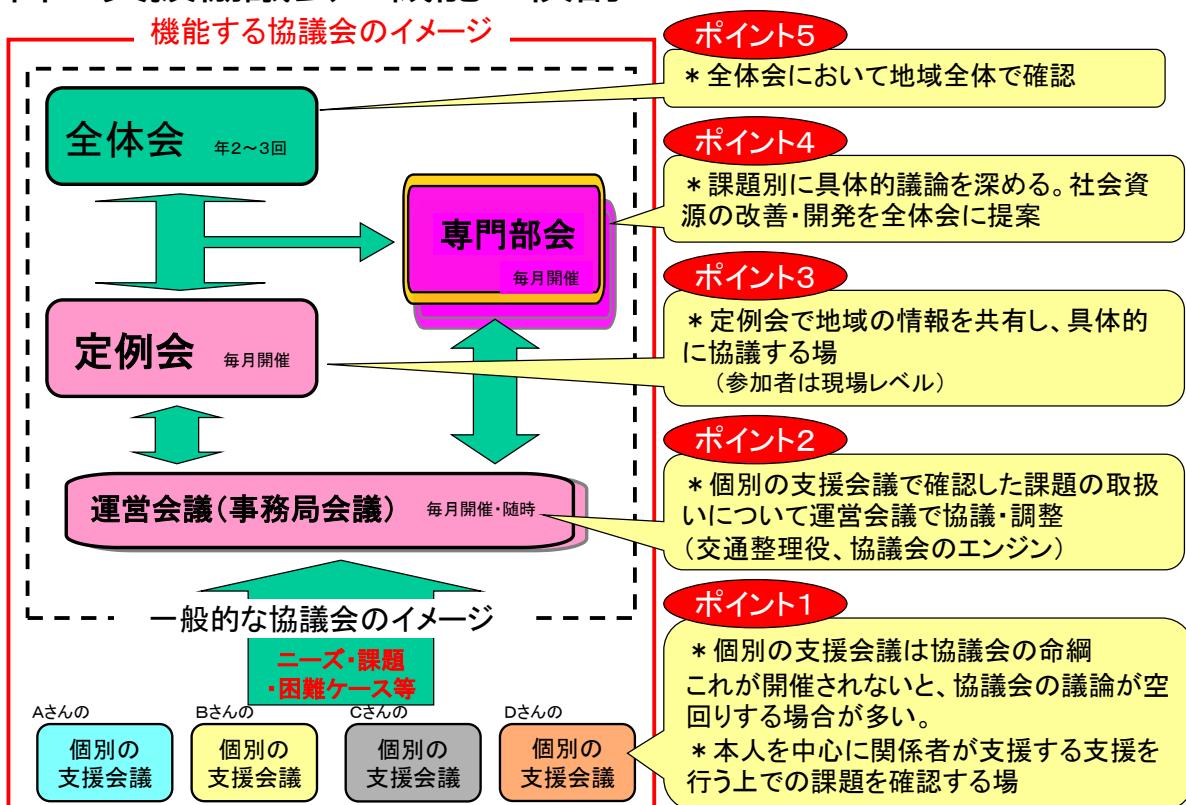
構成要素	内 容
①地域自立生活上サービスを必要としている人に対し、ケアマネジメントによる具体的援助を提供	その人が住み慣れた地域で、できるだけ自分らしく暮らせるように、ケアマネジャーが、その人に合った支援を組み立て、サービスを提供する
②その人に必要なソーシャルサポート・ネットワークづくり	家族や友人、地域の人とのつながり、支え合いの仕組みづくり
③その人が抱える生活問題が同じように起きないよう福祉コミュニティづくり	同じような困りごとが他の人にも起きないように、地域全体で支え合える仕組み（福祉コミュニティ）をつくる
①②③とを統合的に展開する	個別支援から見えてきたニーズを地域づくりにつなげ、地域づくりが個別支援を支えるという循環をつくる

# ケアマネジメントの流れと自立支援協議会



出典:厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業障害者施策総合研究事業(身体・知的等障害分野)「相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究(研究代表者:小澤温)」平成28年度~29年度総合研究報告(2018年3月)、39頁を一部改変

## 自立支援協議会の機能と役割



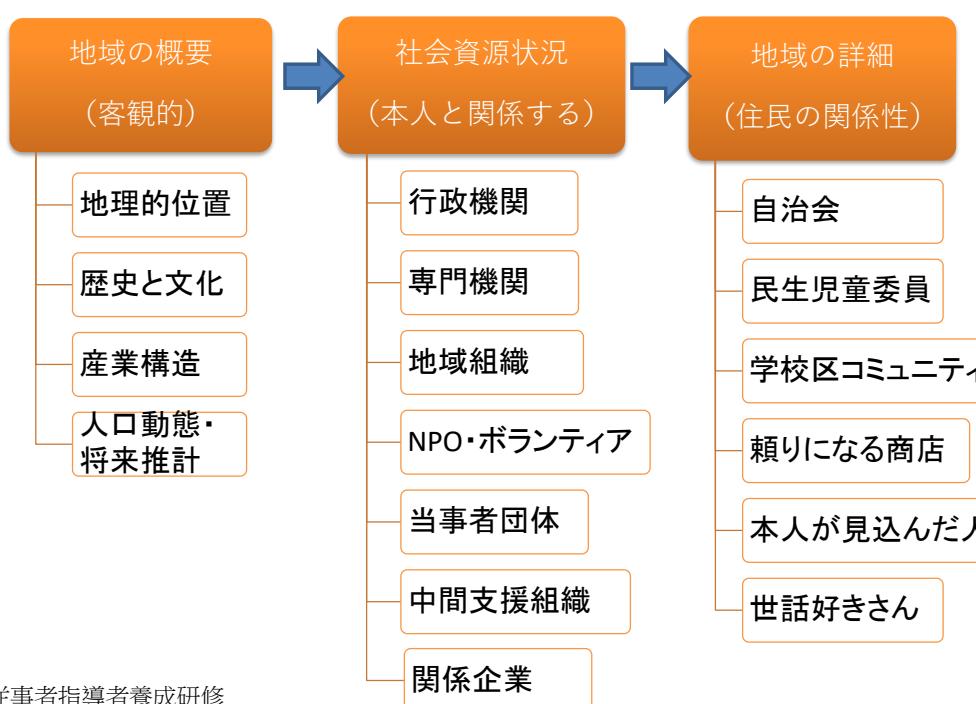
出典:厚生労働省資料

# ソーシャルワークの例え話

引用:[https://youtu.be/o\\_m4zQyoCJs](https://youtu.be/o_m4zQyoCJs)    <http://yukishige.jp/files/slide-ssw.zip>

## 地域アセスメントの手順

既存データ→周辺の状況→地域内部



引用:令和3年度相談支援従事者指導者養成研修

# 利用者中心のアセスメント

## 本人の目線で地域の資源や可能性を見つける

地域の関わり

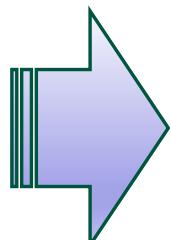
- 【1】本人が参加・所属している地域組織または参加したがっている組織について
- 【2】本人の交友相手(友達)について
- 【3】本人が所属している当事者組織について
- 【4】本人に(福祉的に)関わっている人や組織・企業(商店)・隣人について
- 【5】本人が見込んでいる相手(相談に乗ってくれたり、困った時助けてくれる人)行きつけの商店・診療所の医師・隣人について
- 【6】本人の親族で、利用者が頼みにしている相手について
- 【7】本人の(これから戻る)近隣は、利用者にとっていい近隣か。
- 【8】本人の周囲で、活用できそうな福祉資源はあるか。
- 【9】本人にとって「隠れた資源」となっているもの(利用者を元気にさせているもの)について
- 【10】本人は地域に対して、どんな資源性を有しているか。
- 【11】本人にとっての資源同士のネットワークの状況はどうか。
- 【12】本人の自宅(居住場所)は、
- 【13】本人のセルフケアマネジメント能力(自分の状態を正確に把握・ハンディの中身も客観的に把握・その克服策の工夫・必要な資源を発掘・活用する資質等)の評価をしてみよう。

本人のパワー

引用:令和3年度相談支援従事者指導者養成研修

## 自立支援協議会を活用した地域づくり①

大雨が降ったら、自分だけじゃ避難できませんのじゃけど、どうしたらええんかね。



- 障害者支援施設
- グループホーム
- 児童発達支援

### 防災部会

#### 【活動方針】

- ・福祉職の視点から、障害のある人の防災の課題を整理し、地域の防災体制づくりにおける必要な取り組みを検討する。
- ・顔の見える関係を構築し、災害発生時に事業所相互で支え合える体制づくりを検討する。

相談支援

訪問介護

就労継続B型

生活訓練

生活介護

# 自立支援協議会を活用した地域づくり②

支援者の困りごとを「おのここ」で話し合ってみよう。



## おのみちこころネットワーク協議会 (通称:おのここ)

精神科病院

訪問看護

暮らしサポートセンター

地域包括支援センター

保健所

健康推進課  
こころサポート

相談支援

精神科  
クリニック

居宅介護

就労継続B型

母子生活支援センター

### 【活動方針】

・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議を通じて、顔の見えるネットワークづくりを行い、尾道にあった支援システムを構築していくことを目指す。

## 圏域のつながりを活かした地域づくり

第2回

## 学生吃音交流会

吃音のこと、学校生活のこと、最近はまっていること…  
なんでもお話しませんか…?

日時：2025年5月11日14:00～16:00

対象者：学生（中学生から大学生くらい）で  
吃音がある方

申込：Google Forms (URL or QRコード)  
から！

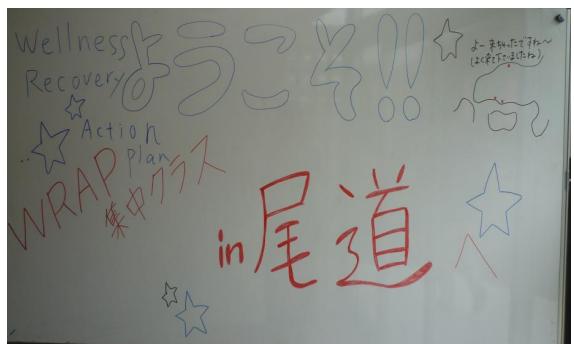
当日参加も受け付けます

# 専門性を活かした地域づくり

## WRAP2daysクラスin尾道のご案内

### WRAPとは・・・

日本では元気回復行動プランと呼ばれ、国内において、急速に普及されつつあります。WRAPは、こころの痛みや強い感情に圧倒されてしまいそうなことがあっても、元気になり、自分の生活を楽しむための努力をしてきた人たちの経験の中から生まれました。自分の状態にあった対応の仕方を考えておくことで、より早く元気が戻ってきて、自分の望む人生を送ることができるかもしれません。WRAPクラスでは、リカバリーに大切なこと、元気に役立つ道具箱、元気回復行動プランを学び、参加者が互いの経験を持ちより、語りあい、学びあいながら、自らが元気に過ごすためのプランを自らがデザインしていきます。WRAPを通じて、気づきが生まれ可能性が開かれしていく、そんなひと時と一緒に過ごしませんか？皆さまのご参加を心よりお待ちしています。



日時	平成26年4月20日（日）受付9:20 9:40～17:00	平成26年4月27日（日）受付9:20 9:40～17:00
内容	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"><li>WRAPの概要、価値と倫理等</li></ul> <p>リカバリーに大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"><li>希望の感覚（希望を持つこと）</li><li>自分の責任（自分が主体となること）</li><li>学び（学ぶこと）</li><li>権利擁護（自分のために権利擁護すること）</li><li>サポート（つながりを持つこと）</li></ul>	<p>WRAP（元気回復行動プラン）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>元気に役立つ道具箱</li><li>6つのプラン</li></ul> <p>「日常生活管理プラン」</p> <p>「引き金になる出来事に対処するプラン」</p> <p>「注意サインに対処するプラン」</p> <p>「調子が悪くなっている時のプラン」</p> <p>「クライシスプラン」</p> <p>「クライシスを脱した時のプラン」</p>



## まとめ

誰もがつながりの中で  
暮らすことができる社会へ

引用：有斐閣 コミュニティソーシャルワーク 菱沼幹男